

## 桃山学院高等学校『学校評価』概略

2014年9月18日

桃山学院中学校高等学校

校長 温井史朗

### I. 学校評価に関するアンケート

桃山学院中学校高等学校では各種アンケートを下記のように実施してきました。

- (1) 生徒対象・・・2013年5月 「生活と意識調査」
- (2) 保護者対象・・・2013年12月
- (3) 教員対象・・・2014年1月

\*その他生徒対象のアンケートとして「健康調査アンケート」「図書活動のまとめ」など

### II. 教育活動に関して

- (1) 桃山学院はキリスト教精神に基づく教育を推進しています。そのキリスト教精神に立脚した本校の教育的使命を明確にするため、以下のミッションステートメントを作成しました。このミッションステートメントは全教職員が共有し今後の長きにわたって本校の教育のあり方を規定するものです。

#### 桃山学院中学校高等学校ミッションステートメント

桃山学院中学校高等学校は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、生徒一人ひとりを大切にし、個々の生徒が持つ多様な可能性を開花させ、健全な社会の実現に貢献できる若者を育成することを使命とする。

- (2) 2013年度の主な活動は以下の通りです。

- ①教科主任の校長任命制度と任期延長：2012年度まで各教科内で選出されていた教科主任を2013年度より学校長による任命としました。また任期を5年間に延長しました。このことにより本校の教育目標、特に生徒の学力向上に向けた様々な取り組みが今以上に継続的かつ統括的に実践されることになりました。
- ②「いのちを大切にするマニュアル」を作成：本校の推進する「いのちの教育」の内容を文書化し「いのちの教育」を全学的に推進するための基本を明確にしました。本校の危機管理室を中心に作成され、2013年7月に全保護者にも配布されました。
- ③本校独自の「いじめ防止基本方針」を作成：「いのちの教育」の理念に立脚した「いじめ防止基本方針」を作成し、今後もいじめの起きない学校作りを目指した教育活動を行っていきます。
- ④ いのちの教育室・・・2012年度に保健指導委員会や宗教教育委員会や人権カウンセリング委員会そしてボランティア担当やSBS担当を概括する組織として設置され

「いのちの教育室」が中心となった具体的な取り組みが行われました。

(1) ボランティア

活動の一環として、昨年に引き続いて8月19日から22日まで東北の南三陸に高校生43名教職員10名で「海岸清掃」のボランティア活動を行いました。その様子を10分間のビデオにして参加生徒や教職員に観てもらいました。東北ボランティアを契機として立ち上がった「生徒のボランティアサークル」は今年も活動を続けていきます。

(2) 響プロジェクト

10年前にスポーツテスト中に生徒がなくなるという悲しい出来事がありましたが、それを契機として「いのちの大切さ」を伝えるためにさまざまな活動が行われまいした。

12月16日(月)に、夏の海岸清掃ボランティアで出会ったボランティアリーダー・中学生・高校生の3人を桃山学院に招きました。午前中に中学生全員に、午後には高校生・教職員・PTAの希望者に講演をしていただきました。

- ⑤ 2013年度の大学合格者数については、国公立大学及び難関私立大学において顕著な増加がありました（国公立合格においては昨年度の約2倍）。また現役合格の割合が継続的に高いものになってきています。今後も「目に見える実力（学力や偏差値など）」を向上させるための努力をM1会議（桃山学院をNo.1にする会議）と進路指導部を中心に実施していくことが確認されました。
- ⑥ 「目に見えない実力（責任感や協調性など）」の育成についても自治会指導部や生活指導部や宗教科が中心となってい、上記⑤の「目に見える実力」の更なる向上と共に、生徒達の全人的な成長を図ります。それによって桃山学院中学校高等学校の大きな目標である「日本一の中学校・高等学校（卒業生と保護者の満足度の割合において）」を実現していきます。
- ⑦ 「学校評価」については、さらに充実したものにするために、また学校での教育活動に生かすために、さらなる努力を継続して行っていきます。

### Ⅲ. アンケート結果

(1) 生徒対象「桃高生の生活と意識に関する調査」(抜粋)

#### 1.あなたが桃山に入学した動機は何ですか 2.現在の学校生活に満足していますか

2つまで可

項目	学年・年度	全体
(1) 自由な校風や建学精神が気に入った		23.2 %
(2) 服装が自由だし高校生活がエンジョイできる		16.0 %
(3) 有名大学への合格者が多い		3.0 %
(4) 自分の学力や能力に合っていた		19.8 %
(5) 併願校		18.8 %
(6) 中学の先生や両親に進められ		7.6 %
(7) クラブ活動が活発		6.2 %
(8) 大学が併設されている		0.3 %
(9) 国際コースがある		4.7 %

項目	学年・年度	全体
(1) 非常に満足		20.4 %
(2) 満足している方		61.5 %
(3) あまり満足していない		13.9 %
(4) 不満だ		3.6 %

#### 3.あなたの学校生活に対する満足感とは何ですか

2つまで可

項目	学年・年度	全体
(1) 自分の学力を伸ばしてくれる		13.2 %
(2) よい友人を得た		42.4 %
(3) クラブ活動や学校行事が活発		9.5 %
(4) よい先生にめぐり合えた		7.9 %
(5) 希望する大学の進学準備ができる		5.4 %
(6) 個性が認められ、人間的な成長を目指す		5.5 %
(7) 自由で気ままな生活ができる		11.6 %
(8) 満足していないので答えられない		4.1 %

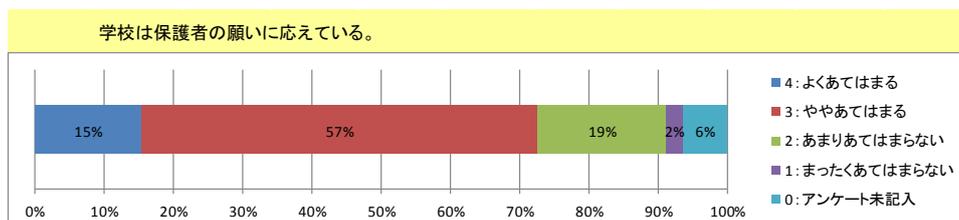
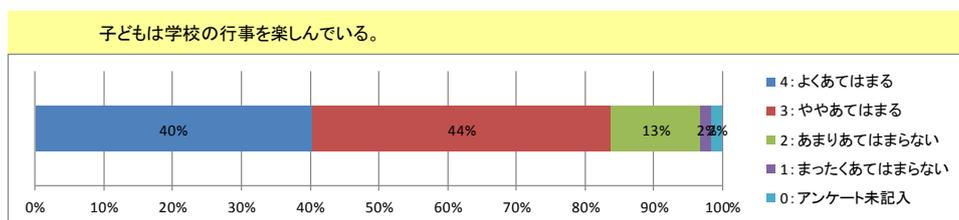
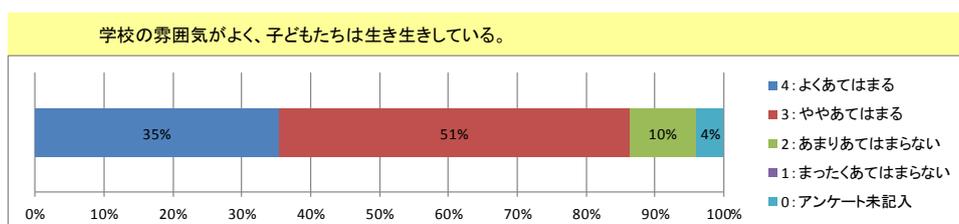
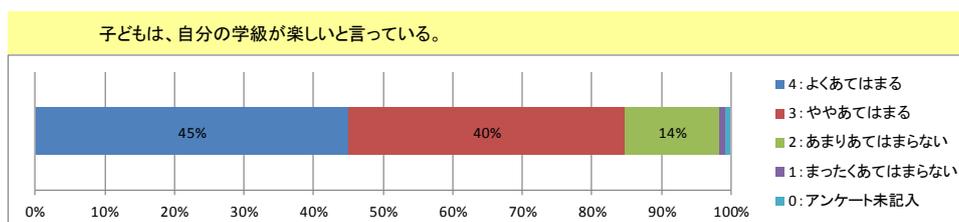
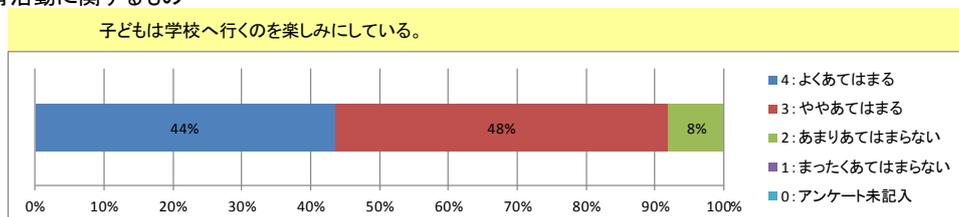
#### 4.桃高において教育上プラスと考えられる点は

2つまで可

項目	学年・年度	全体
(1) 先生が教育熱心で指導力がある		19.2 %
(2) 教育方針や校風がよい		24.2 %
(3) 教育施設が整っている		31.4 %
(4) 生徒一人ひとりに指導が行き届いている		3.4 %
(5) クラブ活動や学校行事が活発		16.0 %
(6) 教育内容が精選され学力に見合った指導がされている		3.3 %

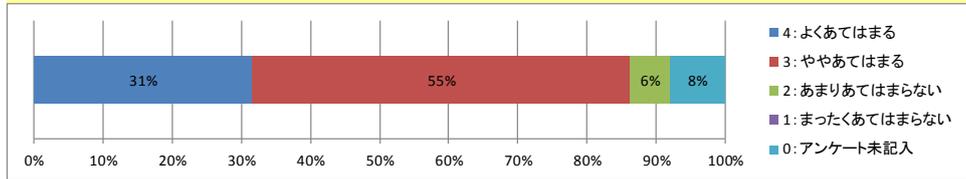
## (2) 保護者対象「学校教育診断表」(抜粋)

### I 教育活動に関するもの

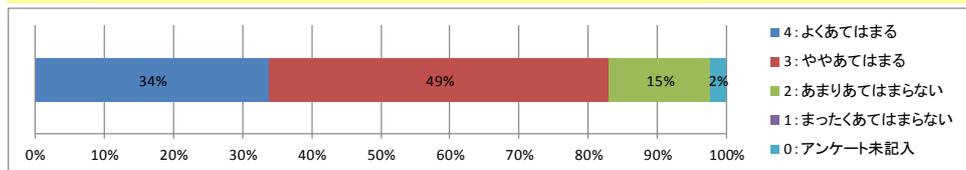


## II 学校経営に関するもの

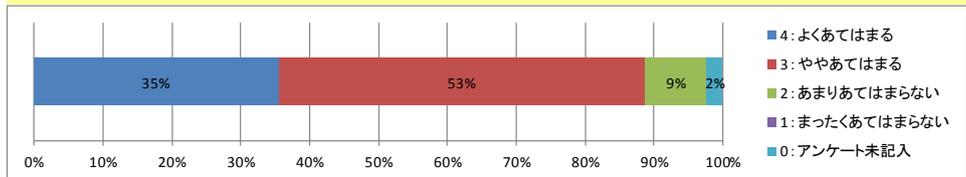
学校運営は正しくなされている。



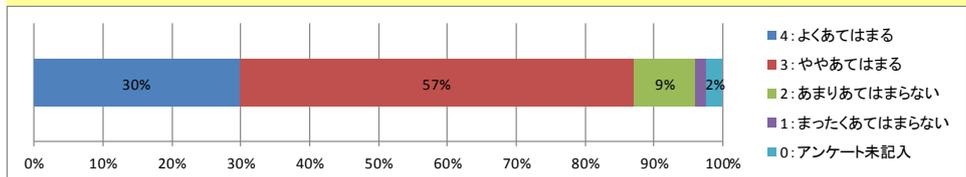
地震や台風などの場合の対応については適切になされている。



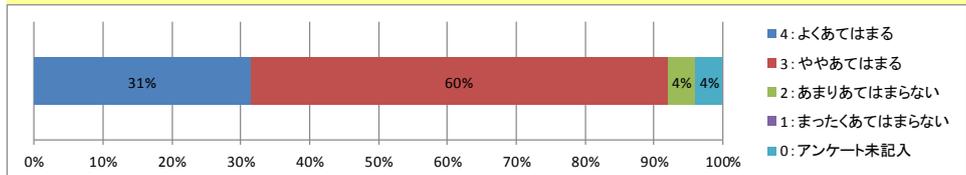
学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる。



対保護者への教職員の対応はほぼ満足できる。

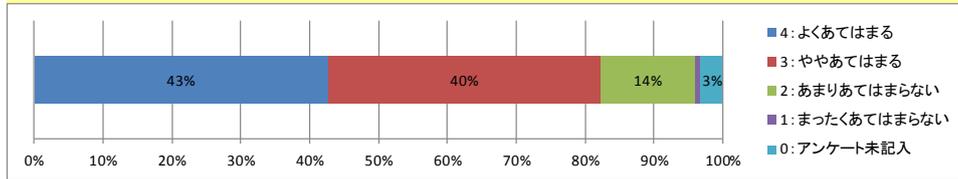


学校は、防災や防犯、事故防止に配慮している。

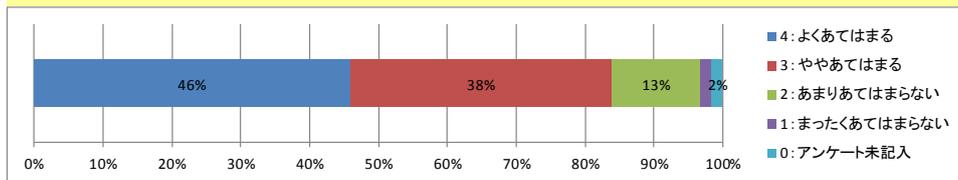


### Ⅲ 担任に関するもの

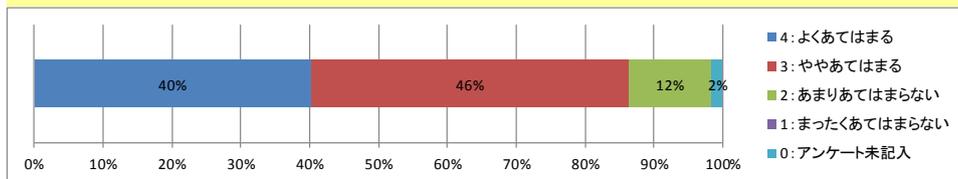
子供は満足して担任の指導に従っている。



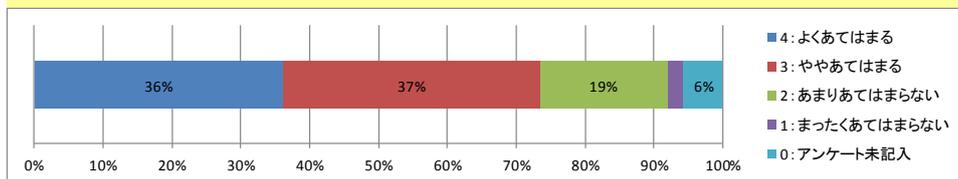
担任の子供への対応や姿勢に熱意を感じる。



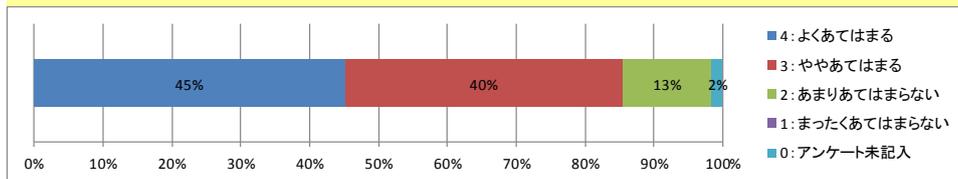
懇談会は保護者と子供にとって有意義である。



担任は必要に応じて保護者への連絡を行っている。



一般的に担任として信頼できる。



(3) 教員対象「教員自己評価アンケート」(中高共通)

① 教育方針について

2013年度学校評価票(全体専任・常勤講師の先生方用)

4: はい。3: どちらかと言えば、はい。2: どちらかと言えば、いいえ。1: いいえ。

1	教育方針を実施して教育目標を達成するために、具体的な教育計画が作成されていますか。	4 - 23%	3 - 63%
		2 - 13%	1 - 3%
2	教育目標を達成するために、本校の教育方針や学校運営に関し、全職員の共通理解が図られていますか。	4 - 20%	3 - 43%
		2 - 35%	1 - 3%
3	職員会議や校内各組織で提案された具体的目標や運営方針に基づいて、日常の教育活動を実施し、目標達成のための工夫・改善が図られていますか。	4 - 28%	3 - 58%
		2 - 13%	1 - 3%
4	教育目標の達成に向けた教育活動が具体的に進められ、成果が上がっていますか。	4 - 5%	3 - 63%
		2 - 30%	1 - 3%
5	教育課程の実施に当たっては、生徒の実態を十分踏まえ、教育目標の達成を目指したものとなっていますか。	4 - 20%	3 - 53%
		2 - 25%	1 - 3%
6	教育課程の実施に当たっては、校内各組織の役割分担と連携が明確であり、それぞれの組織の考えが十分反映されるよう配慮されていますか。	4 - 10%	3 - 58%
		2 - 33%	1 - 0%
7	教育課程を円滑に実施するための工夫・改善が、毎日の教育活動の中で図られていますか。	4 - 23%	3 - 63%
		2 - 15%	1 - 0%
8	教育目標の趣旨に沿った教育課程を実施した結果、生徒一人ひとりの目標が達成されるなど、成果が上がっていますか。	4 - 10%	3 - 59%
		2 - 31%	1 - 0%
9	各教科・科目の年間指導計画は、学校や生徒の実態を考慮して作成されていますか。	4 - 30%	3 - 53%
		2 - 18%	1 - 0%
10	各教科・科目の学習活動が円滑に進められるように、教科会議、各部会、担任会、コース会議、委員会が互いに協力し合うなど、指導体制が確立されていますか。	4 - 20%	3 - 0.48%
		2 - 28%	1 - 5%
11	学習内容を確実に身に付けることができるよう、授業内容に工夫・改善がなされていますか。	4 - 28%	3 - 60%
		2 - 10%	1 - 3%
12	指導の過程や成果を評価することによって、学習指導の改善を図り、生徒の学習意欲を向上させる努力をしていますか。	4 - 28%	3 - 60%
		2 - 10%	1 - 3%
13	教育目標に基づいた生徒指導や進路指導の年間計画が作成され、その全体構造と重点が明確にされていますか。	4 - 23%	3 - 48%
		2 - 30%	1 - 0%
14	学校の実態に即して生徒指導や進路指導が組織され、教育目標を達成するための役割分担と連携が明確にされていますか。	4 - 23%	3 - 53%
		2 - 25%	1 - 0%
15	生徒達に学則を守らせるため、教師集団の一員として、校則違反の生徒達に厳正に対応していますか。	4 - 20%	3 - 60%
		2 - 13%	1 - 8%
16	教師と生徒が信頼関係で結ばれ、教育目標の達成に向けて互いに生き生きと活動していますか。	4 - 30%	3 - 65%
		2 - 5%	1 - 0%
17	生徒の実態や発達段階を的確に把握し、教育目標の達成に向けてのホームルーム計画が適切に設定されていますか。	4 - 23%	3 - 45%
		2 - 30%	1 - 3%
18	クラス運営に当たっては、生徒ひとりひとりの個性を把握し、その可能性を伸ばすための個人指導が適切になされていますか。	4 - 38%	3 - 53%
		2 - 8%	1 - 3%
19	クラス運営にわたっては、クラス全体の特徴を理解し、各クラスの問題点に応じての集団指導が適切になされていますか。	4 - 28%	3 - 65%
		2 - 8%	1 - 0%
20	クラス運営を充実したものとするため、また担任生徒や保護者からの信頼を得るため、教師としての研鑽に励んでいますか。	4 - 35%	3 - 63%
		2 - 3%	1 - 0%

② 授業評価について

2013年度学校評価票(全体専任・常勤講師の先生方用)

4: はい。3: どちらかと言えば、はい。2: どちらかと言えば、いいえ。1: いいえ。

1	教科書の選択は、学習の目標や生徒の能力に照らして適切だった。	4 - 50%	3 - 48%	2 - 3%	1 - 0%
2	副教材の選択は、その内容や種類に関し、学習の目標や生徒の能力に照らして適切だった。	4 - 48%	3 - 43%	2 - 10%	1 - 0%
3	教材についての研究を行い、授業にはいつも十分な準備をしたうえで臨んでいる。	4 - 60%	3 - 40%	2 - 0%	1 - 0%
4	生徒の理解を促すように、授業を工夫し、声の大きさ、話し方発問や板書を工夫している。	4 - 63%	3 - 35%	2 - 3%	1 - 0%
5	自分の授業をより魅力的で効果的なものにするため、研修やベテランの教員の授業見学などを通じて、自己研鑽を行っている。	4 - 40%	3 - 40%	2 - 20%	1 - 0%
6	センターや難関大学の問題を解くなどして、大学入試の傾向や対策について自己研鑽を行っている。	4 - 45%	3 - 40%	2 - 13%	1 - 3%
7	目標やねらいを明確にするなど、十分な計画性をもって授業をおこなっている。	4 - 48%	3 - 53%	2 - 0%	1 - 0%
8	授業内容に関する生徒の質問については、十分な対応をしている。	4 - 33%	3 - 58%	2 - 10%	1 - 0%
9	生徒とは、授業及び他の活動のなかで十分にコミュニケーションをとっている。	4 - 43%	3 - 55%	2 - 3%	1 - 0%
10	ベル着を実行している。	4 - 60%	3 - 25%	2 - 15%	1 - 0%
11	授業中の生徒の座る姿勢にも注意をはらっている。	4 - 40%	3 - 40%	2 - 18%	1 - 3%
12	私語や居眠りがあれば、厳正に注意している。	4 - 53%	3 - 45%	2 - 3%	1 - 0%
13	生徒には、予習・復習等の家庭学習にしっかり取り組ませている。	4 - 23%	3 - 50%	2 - 23%	1 - 5%
14	同じ教材を使っている同一学年の同一科目の教員と意思疎通を積極的に行っている。	4 - 40%	3 - 55%	2 - 3%	1 - 3%
15	他の教科の教員とも課題等の出し方について(生徒の負担の過多や過少をさけるための)意思疎通を積極的に行っている。	4 - 23%	3 - 58%	2 - 10%	1 - 10%
16	非常勤講師の先生方とも意思疎通を積極的におこなっている。	4 - 50%	3 - 40%	2 - 5%	1 - 5%
17	生徒は年次に応じた進路意識をもって学習に取り組んでいる。	4 - 45%	3 - 45%	2 - 10%	1 - 0%
18	生徒は、授業で学んだことから、さらに意欲・関心を深めている。	4 - 18%	3 - 68%	2 - 15%	1 - 0%
19	自分の授業は生徒の学力向上に寄与している。	4 - 38%	3 - 55%	2 - 8%	1 - 0%
20	今年度(2013年度)実施授業アンケートに満足している。	4 - 20%	3 - 53%	2 - 18%	1 - 10%

IV. 事業活動に関して

2013年度事業計画及び事業報告について作成し、ホームページを通じて公表を行いました。<http://www.andrew.ac.jp/gakuin/approach/plan.html>

## V. 2013年度 学校評価について

### 2013年度 第14回職員会議 2013年12月24日・・・高校教頭報告

#### \*授業見学

P D C Aの「A」の大切さ。⇒HP公表することにより学校への信頼が高まる。

Aを次年度の学校方針に入れる。

\*さらに充実した点検評価委員会を実施していく。

運営委員会での意見交換→職員会議報告をとおしての共通認識の必要がある。

### 2013年度 第17回職員会議 2014年1月30日・・・校長報告

\*今後、「大学進学実績向上」（2013年4月「授業」。夏以降「学力アップ」という呼称でしたが、今後はこの呼称にします。）のための意見交換・審議は「学校評価にかかわる点検評価委員会」も兼ねることとします。

### 2014年度 第1回職員会議2014年 4月 5日（土）・・・高校教頭報告

\*学校評価について職員会議で意見交換を実施する。

- ① 職員にHPの「学校評価」を読むことを義務づける。「確認しました」チェックを入れる。
- ② 刷すればA4 12枚に及ぶので担任会で回覧する。
- ③ 次回の職員会議で更なる意見交換を行う。

### 2014年度 第2回職員会議2014年度 4月17日（木）・・・意見交換

#### 意見交換

\*2012年度の学校評価について（第1回 職員会議報告済み）

教職員がHPの「学校評価」を読み、「確認チェック」をした。

担任会と中学で「学校評価用紙」を回覧をした。

#### その他、職員会議での意見

- ・いのちを大切にするマニュアル作成配布や危機管理については、新しい取り組みとして評価される。
- ・学力向上の取り組みや生徒への信頼に基づく教育という観点では保護者の捕らえ方は良好であると思われる。
- ・東北ボランティアなどは継続されるべき取り組みである。
- ・保護者アンケートをさらに充実したものにしていく必要がある。
- ・本校の現役合格者の割合が飛躍的に向上していることを、現役保護者にも数値で示し、もっとアピールしてもいいのではないか。

以上